

みどりの風

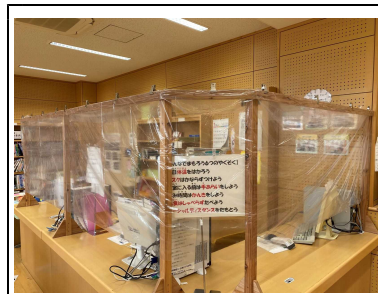
令和3年1月25日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

図書室カウンターにコロナ感染防止カーテン設置

令和3年に入って、五島市内でも新型コロナウイルス感染者確認が続き、その累積数はあっという間に30人に達しました。休校措置をとった学校もあります。11都道府県に緊急事態宣言が発令されたにもかかわらず、全国の新規感染者数は高い水準で推移し、いつ収束するのか全く予測できない状況です。子ども達の学びを保障するためにも、徹底した感染防止対策を続けなければなりません。マスク着用・手洗いと換気の日常化・ソーシャルディスタンスの維持の3つを徹底するとともに、可能な限り密状態を回避し、人が多く集まる場所では飛沫拡散を防ぐ手立てを講じていかなければなりません。体育館での集会等を控える現状では最も人が集まる場所は図書室。そこで、図書室利用を学年別に割り振って利用人数を制限するとともに、特に対面での作業となるカウンターでの貸し出し・返却作業時の感染を防止するため「コロナ感染防止カーテン」を設置しました。



学校校務員の野原さんに目的を説明したところ、透明なビニールシートをカーテンのように張るのが一番効果的ではないかとアイデアを出していただき、すぐに作業開始。私が想像していたものより格段効果的な防止カーテンができあがりました。利用する子ども達はもちろん、作業を担当する図書委員の子ども達や先生方も安心して取り組むことができます。カウンター前には、1m程度の感覚で「足型マーク」を置き、距離を保って順番を待つ工夫もしています。コロナ禍にあっても、子ども達にはたくさん本を読んでほしい。そんな願いのいっぱい詰まった図書室が輝いて見えます。

6年生が「英検ジュニア」を受験

五島市では、グローバルな人材育成を目標に「プロジェクトG」という教育活動に取り組んでいます。端的に言うと「英語力の向上」のための教育です。文部科学省に特区申請をし、市内全小学校を特例校に位置付けて、小学校1年生からの外国語活動を推進しています。市を挙げて外国語指導助手（ALT）と呼ばれる外国人指導者を多数雇用し、中学校だけでなく小学校にも定期的に派遣してくれます。また、小学校と中学校が連携して英語授業を見せ合い、質を高める研究も進めています。

市内全校の6年生は「英検ジュニア」という試験を全員受検します。本校の6年生もチャレンジしました。これまでの学びがどの程度定着しているのかを測るテストです。小学校で蓄えた学力を中学校での学びに繋げコミュニケーションツールとしての英語力を高めていくのです。中学生は全員、GTECという外部検定試験に取り組み、高校そして大学受験へと繋げていきます。プロジェクトGの「G」はグローバルを意味します。

